

## 黒曜石の七不思議

シベリアからやってきたマンモスハンターたちの技術を受け継ぎ、そしてそれをさらに発展させた・・・「白滝における黒曜石の加工技術・湧別技法」は驚くべき技術である。

**マンモスハンター、シベリアからの旅立ち**：このNHKの特別番組がNHKオンデマンドで見ることができるので、まずそれを見てもらいたい。（註：NHKオンデマンドで見るとするには、会員になり料金を払うなど所定の手続きが必要です。）

<https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2010021817SA000/index.html>

白滝における黒曜石の加工技術・湧別技法」：<http://www.kuniomi.gr.jp/geki/iwai/hirogari.pdf>

白滝における黒曜石：<https://www.youtube.com/watch?v=W7-GVFxmj9Q>

私はそのことを十分意識しながら、黒曜石を中心とした旧石器文化の勉強をする必要性に気づき、いろいろと考古学的な勉強を重ねてきた。黒曜石を中心とした旧石器文化は、南方からやってきた海洋民族の影響が大きいことを勉強した。そして、そのときに感じた不思議を「黒曜石七不思議」として呼んで、素人なりに自分なりの考えをまとめた。

第1の不思議は「武蔵野台地に大量に持ち込まれた黒曜石が伊豆・箱根、伊豆諸島の神津島、栃木県高原山でなく、なぜ八ヶ岳のものなのか？」

第2の不思議は「神津島には、いつごろ、どういう人が、何のために渡ったのか？」

第3の不思議は「神津島の黒曜石は3万年ほど前から盛んに採掘されるようになったにもかかわらず、熱海大越遺跡からは、なぜ2万年前の黒曜石しかでないのか？」

第4の不思議は「神子柴で出土した黒曜石の尖頭器はいつ頃どこの誰が開発したのか？」

第5の不思議は「湧別技法集団は北海道から日本列島のどこを通過して南下していったか？」

第6の不思議は「何故、あそこに御子柴遺跡のようなすばらしい遺跡があるの？御子柴は聖地か？」

第七の不思議は、「新潟県阿賀町津川の山中にある遺跡・「小瀬が沢遺跡と室谷遺跡」に何故白滝や八ヶ岳の黒曜石がここまで運ばれてきたのか？」

これらの疑問に答えた私の論文が次の論文である。

黒曜石の七不思議：<http://www.kuniomi.gr.jp/geki/iwai/7husigi2.html>